

松下幸之助詩集「日々是新（ひびこれあらた）」

年があらたまれば心もあらたまる。心があらたまればおめでたい。

正月だけがめでたいのではない。

心があらたまったとき、それはいつでもおめでたい。

きのうもきょうも、自然の動きには何ら変わりはない。

照る陽（ひ）、吹く風、みな同じ。

それでも心があらたまれば、見るもの聞くものが、みな新しい。

年の始めは元日で、一日の始めは朝起きたとき。

年の始めがおめでたければ、朝起きたときも同じこと。

毎朝、心があらたまれば、毎日がお正月。

あらたまった心には、すべてのものが新しく、すべてのものがおめでたい。

きのうはきのう、きょうはきょう。

きのうの苦勞をきょうまで持ち越すことはない

「一日の苦勞は一日にて足れり」というように、

きょうはまたきょうの運命がひらける。きのうの分まで背負ってはられない。

毎日が新しく、毎日が門出である。

日々是新なれば、すなわち日々是好日（ひびこれこうじつ）。

素直で謙虚で、しかも創意に富む人は、毎日が明るく、毎日が元気。

さあ、みんな元気で、新しい日々を迎えよう。

松下幸之助